

2026年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年9月11日

東

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所
 コード番号 3361 URL <https://www.toell.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 孝治
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 萩原 正道 (TEL) 045-592-7777
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第1四半期の連結業績(2025年5月1日~2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第1四半期	6,081	△1.2	244	△40.3	387	△23.3	274	—
2025年4月期第1四半期	6,153	4.9	409	△5.2	504	△8.9	△367	—

(注) 包括利益 2026年4月期第1四半期 331百万円(—%) 2025年4月期第1四半期△299百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年4月期第1四半期	円 銭 14.63	円 銭 —
2025年4月期第1四半期	△18.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年4月期第1四半期	百万円 25,681	百万円 20,351	% 79.2
2025年4月期	26,934	20,537	76.2

(参考) 自己資本 2026年4月期第1四半期 20,343百万円 2025年4月期 20,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年4月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 23.00
2026年4月期	—	—	—	—	—
2026年4月期(予想)	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,136	△0.9	2,007	3.6	2,223	△1.9	1,372	63.0	72.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期1Q	20,805,640株	2025年4月期	20,805,640株
② 期末自己株式数	2026年4月期1Q	2,079,874株	2025年4月期	1,969,874株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年4月期1Q	18,781,962株	2025年4月期1Q	20,311,966株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

以下に記載する事項のうち将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で、中東情勢の長期化による資源価格高騰や物価上昇は継続しています。また、米国による追加関税措置の影響など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の下、エネルギー事業においては、適正且つ安価な価格を既存のお客さまに提供すると共に新規顧客開拓を推進し利益の確保に努めました。また、災害時に復旧が早いLPガス設備を積極的に提案するなど継続的な事業基盤の確立を着実に進めました。ウォーター事業においては、高品質な天然の原水をコンセプトとした自社ブランドをより一層浸透させる為、広告宣伝の差別化戦略に尽力し拡販に注力しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,081百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は244百万円(前年同期比40.3%減)、経常利益は387百万円(前年同期比23.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は274百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失367百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

① エネルギー事業

当第1四半期においては、記録的な猛暑の影響により単位消費量は減少しましたが、既存の「ガス」、「ウォーター」というライフライン領域に「TOELLでんき」「TOELL光LINE」を加え4事業をセットにした「TOELLライフラインパッケージ」のセット割キャンペーンの活動強化により顧客数を伸ばしたことで販売数量は増加しました。LPガス輸入価格が前年と比べ低位で推移したことに伴う販売価格下落の影響はありましたが、僱事での物販の寄与もあり、売上高は微減にとどまりました。また、物流コスト等の上昇など外部のマイナス要因を打ち返せず、セグメント利益は前年同期を下回りました。

小売業界におけるお客さまの争奪戦は激しさを増している状況ですが、当社はこの過当競争を勝ち抜くため、独自の物流システムによるコスト削減などで適正且つ業界平均と比べ安価な価格での販売に努めると共に、自社配送の利点を生かしたお客さまとのリレーション強化等により事業基盤の拡大に努めております。また、災害時の電力確保が可能な電源自立型GHP(ガスヒートポンプ)エアコンやLPガス非常用発電機の提案を強化することで更なる事業基盤の強化も推進しました。

この結果、売上高は4,305百万円(前年同期比1.9%減)、管理部門経費配賦前のセグメント利益は247百万円(前年同期比27.6%減)となりました。

② ウォーター事業

広告戦略を見直し新規顧客開拓に注力したことや法人需要の取込みが奏功し、販売本数が増加し増収となりましたが、利益面につきましては物流コスト等の上昇に加え、一時的な広告宣伝費の増加の影響により減益となりました。

ボトルウォーター市場は、より美味しい水を嗜好するお客さまのニーズにより堅調に推移しています。当社は、高品質な天然の原水をブランドコンセプトとしたピュアウォーターの「アルピナ」「Pure Hawaiian」、北アルプスの天然水そのものをボトルリングした「信濃湧水」という3つのブランドを展開、リターナブル、ワンウェイ2種類のウォーターサーバー専用ボトルを取り揃え、当社の強みである自社配送による低コストのサービスなど差別化を図り、多種多様な広告媒体の活用により商品認知度向上に努めて新規受注につなげてまいりました。更にOahu Factory(ハワイ工場)では持ち運びに便利な「Pure Hawaiian」のミニボトルを製造し、インターネットによる通販を中心に国内販売を強化しております。本商品は複数の大手航空会社ハワイ便の機内用飲料水としてもご採用いただいております。ハワイに関心をお持ちの方々をターゲットに商品の認知度向上を図り、販売本数の増加及び新規顧客獲得につなげてまいります。

この結果、売上高は1,776百万円(前年同期比0.7%増)、管理部門経費配賦前のセグメント利益は342百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,253百万円減少し、25,681百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が247百万円、受取手形及び売掛金が834百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,067百万円減少し、5,329百万円となりました。この主な要因は、買掛金が699百万円、未払法人税等が103百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、自己資本比率は79.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期通期の業績予想につきましては、現時点では、2025年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やC P 価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関しては修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,208,870	4,961,749
受取手形及び売掛金	4,054,825	3,219,917
電子記録債権	39,030	31,097
商品及び製品	1,350,969	1,300,164
仕掛品	16,491	16,625
貯蔵品	437,749	443,384
その他	317,079	337,950
貸倒引当金	△7,568	△6,699
流動資産合計	11,417,447	10,304,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,571,966	3,586,362
機械装置及び運搬具（純額）	1,470,401	1,456,743
土地	6,346,408	6,351,003
リース資産（純額）	954,325	887,101
その他（純額）	382,806	368,930
有形固定資産合計	12,725,909	12,650,142
無形固定資産		
営業権	21,550	18,879
その他	725,672	680,446
無形固定資産合計	747,223	699,326
投資その他の資産		
その他	2,195,942	2,179,828
貸倒引当金	△151,809	△152,424
投資その他の資産合計	2,044,133	2,027,403
固定資産合計	15,517,265	15,376,871
資産合計	26,934,713	25,681,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,230,088	1,530,447
1年内返済予定の長期借入金	25,000	—
未払法人税等	180,789	76,838
賞与引当金	229,134	112,355
役員賞与引当金	40,600	52,600
その他	2,100,743	2,019,207
流動負債合計	4,806,355	3,791,448
固定負債		
役員退職慰労引当金	6,510	6,510
退職給付に係る負債	654,285	662,885
その他	929,601	868,446
固定負債合計	1,590,396	1,537,841
負債合計	6,396,752	5,329,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	918,859	918,859
資本剰余金	1,128,003	1,128,003
利益剰余金	19,404,846	19,246,770
自己株式	△1,619,602	△1,704,920
株主資本合計	19,832,106	19,588,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470,698	501,790
為替換算調整勘定	218,793	245,528
退職給付に係る調整累計額	8,817	7,334
その他の包括利益累計額合計	698,309	754,653
非支配株主持分	7,543	8,403
純資産合計	20,537,960	20,351,770
負債純資産合計	26,934,713	25,681,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年5月1日 至2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年5月1日 至2025年7月31日)
売上高	6,153,931	6,081,797
売上原価	3,567,932	3,616,919
売上総利益	2,585,999	2,464,877
販売費及び一般管理費	2,176,337	2,220,240
営業利益	409,661	244,637
営業外収益		
受取利息	541	732
受取配当金	11,623	19,807
賃貸収入	8,290	7,928
スクラップ売却収入	32,977	26,151
為替差益	—	51,063
消耗品売却収入	90,869	28,791
その他	17,800	17,662
営業外収益合計	162,102	152,137
営業外費用		
支払利息	3,336	2,923
為替差損	56,927	—
賃貸費用	5,051	5,022
その他	1,479	1,451
営業外費用合計	66,794	9,396
経常利益	504,970	387,377
特別利益		
固定資産売却益	25,075	6,067
特別利益合計	25,075	6,067
特別損失		
固定資産除却損	143	1,249
固定資産売却損	60	2
創業者功労金	995,000	—
特別損失合計	995,204	1,252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△465,159	392,193
法人税、住民税及び事業税	29,162	72,041
法人税等調整額	△126,666	44,909
法人税等合計	△97,504	116,951
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△367,654	275,242
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△629	545
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△367,024	274,696

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△367,654	275,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,020	31,092
為替換算調整勘定	△2,502	27,048
退職給付に係る調整額	△1,286	△1,483
その他の包括利益合計	68,231	56,657
四半期包括利益	△299,423	331,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298,764	331,040
非支配株主に係る四半期包括利益	△658	859

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月13日開催の取締役会決議により、自己株式110,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において自己株式が85百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,704百万円となっております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度において、「受取手形及び売掛金」に含めていた「電子記録債権」は、表示の明瞭性を高める観点から、当第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形及び売掛金」に表示していた4,093,855千円は、「電子記録債権」39,030千円、「受取手形及び売掛金」4,054,825千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,389,173	1,594,929	5,984,102	—	5,984,102
その他の収益	—	169,829	169,829	—	169,829
外部顧客への売上高	4,389,173	1,764,758	6,153,931	—	6,153,931
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,389,173	1,764,758	6,153,931	—	6,153,931
セグメント利益	342,561	407,688	750,250	△340,588	409,661

(注) 1. セグメント利益の調整額△340,588千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	エネルギー 事業	ウォーター 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,305,441	1,613,628	5,919,069	—	5,919,069
その他の収益	—	162,727	162,727	—	162,727
外部顧客への売上高	4,305,441	1,776,355	6,081,797	—	6,081,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,305,441	1,776,355	6,081,797	—	6,081,797
セグメント利益	247,945	342,584	590,529	△345,892	244,637

(注) 1. セグメント利益の調整額△345,892千円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(営業権償却を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び営業権償却は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	342,065千円	342,444千円
営業権償却	3,405	2,670